

総務委員会資料

令和元年第4回定例会提出予定議案の説明

【報告第16号・第17号関係】

健全化判断比率及び資金不足比率の概要

令和元年8月29日

財政局

健全化判断比率及び資金不足比率の概要

1 実質赤字比率

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

【説明】一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

2 連結実質赤字比率

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

【説明】全会計を対象とした実質赤字（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率

3 実質公債費比率

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\begin{array}{l} \text{(地方債の元利償還金+準元利償還金)} \\ - \text{(特定財源+元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{標準財政規模} \\ - \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{array}}$$

(3か年平均)

【説明】一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

4 将来負担比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{\begin{array}{l} \text{将来負担額} \\ - \text{(充当可能基金額+特定財源見込額)} \\ + \text{地方債現在高に係る基準財政需要額算入額} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{標準財政規模} \\ - \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{array}}$$

【説明】一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

5 資金不足比率

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

【説明】公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率